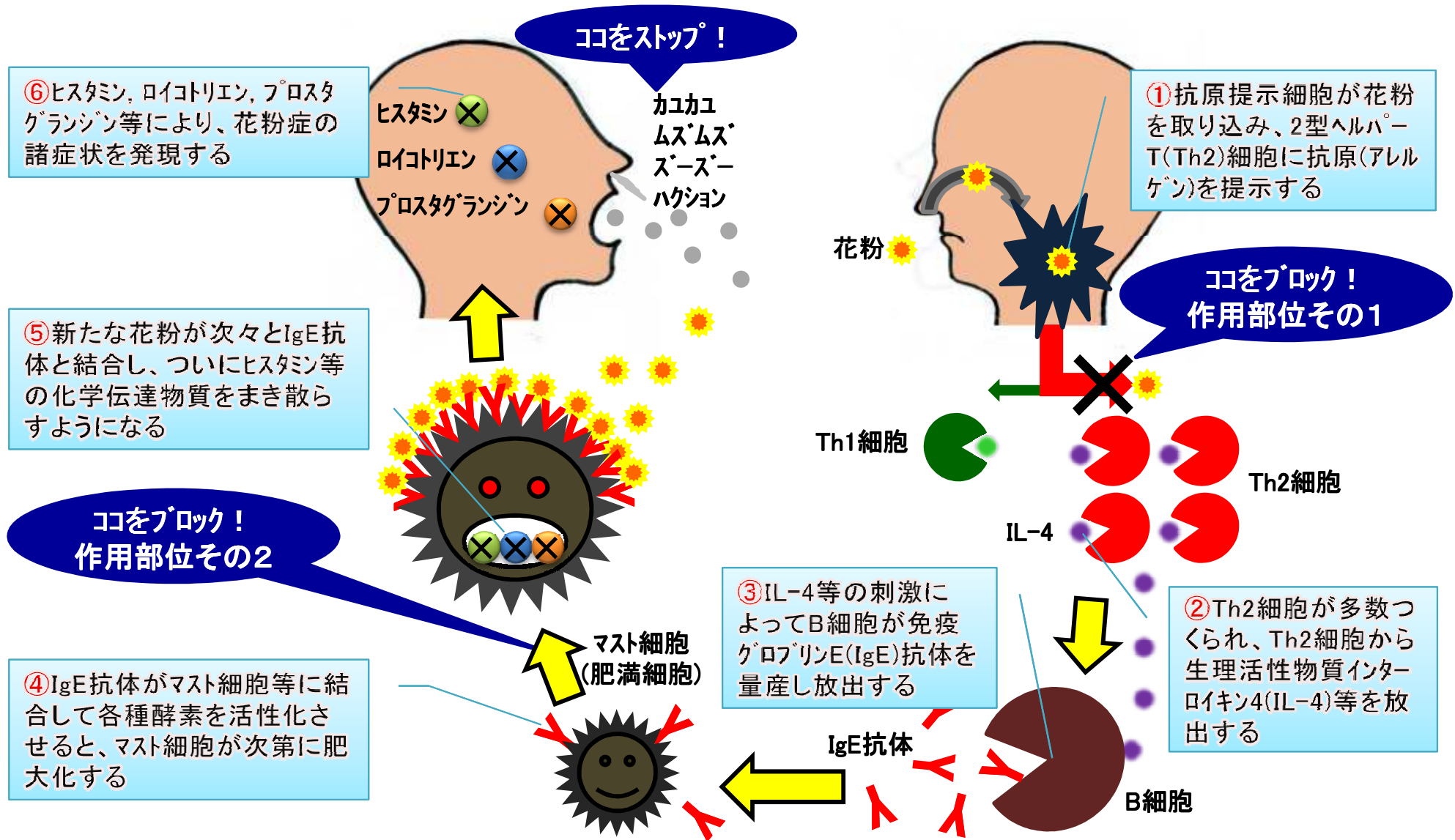


# 花粉症の発症メカニズムと最強トリオの作用部位



**ココが重要!** 生姜・葡萄・薊に含まれる植物性化学物質はヘルパーT細胞のバランスをTh2細胞優位に偏った状態(Th1細胞数<Th2細胞数)から均衡を保った状態(Th1細胞数≒Th2細胞数)に改善する[作用部位その1]。その上マスト細胞の活性・肥大化も抑えて、ヒスタミン等の化学伝達物質の放出量を極力少なくする[作用部位その2]。